



Weekly News Letter

つくば学園ロータリークラブ 会報

2004.12.16 第 16 号



クリスマスパーティーを盛大に開催

「2004 年度最終例会・会長挨拶」

2004年、平成16年最後の例会挨拶をさせていただきます。

岡添年度も、今日で無事半分を終わる事ができます。皆様の御協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。また、後期も変わらない御協力をお願い致します。

さて、今年を振り返りますと、内外ともに大変な1年に成りました。一番は経済戦争でしょう。特に中国との経済戦争は激しくなりました。今はまだ、日本が優位に立っていますが、近い将来すべての経済分野で中国に脅かされるでしょう。国内でも大手企業の一人勝ちの様相を呈していますが、勝つためにかなり体力を消耗しています。一般企業の会社では、隙間産業、隙間企業が元気だと云われていますが、これでは社会が成り立ちません。

日産自動車の復活に見るように、大量のリストラ、仕入れの大幅な値引き、その上に成り立っています。しかし、日産自動車の復興に困りまして、再雇用、など雇用の増大もおきています。

鉄鋼会社の人々が自動車メーカーの***には売りたいくない、利益が無い、と言う事を聞いた事が有りました。

今度の中国特需によりまして鉄鋼が2～3倍に値上がりしまして、自動車側の希望の単価では供給が間に合わず、工場の休業が起きました。茨城県、つくば市だけの生活圈、商業圏が、関東圏、日本、東南アジア、世界中へと広がって来ています。

それもかなり早い速度で広がっています。変化に対応出来る会社と、国の政策と関係した仕事の会社が生き延びられる会社だそうです。コンピューター関連のこれらの会社だけがよくて、利益を出している会社は2割程度、3割はどうしようもない状態だと聞いた事が有ります。ロータリーのメンバーの企業も、それぞれ厳しい環境下ではあると思いますが、生き抜いて行きたいと思います。

二番は災害です。台風、集中豪雨、大地震と本当に災害の多い年でした。京都の清水寺で発表された「今年の漢字」も、「災」だったそうです。生活の場を失い、生活の糧を失い、それでも借金だけは残ったのではと心配しています。中越地震の山崩れにより堰き止められた天然ダムの土石流の心配をしていますが、あの土石の量は莫大で、あそこに入る道の復旧、土石の持ち出し場所など、かなり難しいそうです。被災地の皆様の1日も早い復興をお祈りしたいと思います。

三番目は他国との諸問題です。北朝鮮、中国、ロシア、イラク、アメリカです。戦争も辞さない、国益と云う名の銘文。拉致、領土、戦後賠償問題等々、日本の外交能力が問われる時期になったようです。他に、環境問題の京都議定書に、中国、アメリカは反対しています。両国とも経済発展と国民各自の財産権の問題で反対ですが、中国は環境問題が深刻で、トヨタのプリウスを生産するそうです。それだけ、地球環境が破壊されているのがよくわかります。日本もお金だけを出すのではなく、世界をリードしてゆく国になって貰いたいと思います。その為にも、首相を初め外交関係者の皆さんには、毅然とした外交をお願いしたいと思います。

大変な2004年でしたが、2005年は災い転じて福となります事を祈りまして、年末のご挨拶と致します。皆様、よいお年をお迎え下さい。

例会報告 12月9日(木) シーズンズ

[ビジター] 筑波大留学生・会員夫人

[出席] 総数65名

[編集後記]

クリスマスパーティーを盛大に楽しくそして美味しく堪能しました。特に親睦委員会の活躍はよりダンディでスマートに決まっており、音楽・料理ともに最高です。

親睦委員会の皆さんありがとうございます。

プログラム(予告)

12月16日(木) 会長 年末挨拶・上半期最終例会

新入会員卓話 井田 充夫 会員

12月23日(木) 休 会(祝日)

12月30日(木) 休 会(定款第5条第1節により)

1月 6日(木) 理事会 11:00～ 会長 年頭挨拶・年男 年頭初心挨拶

柴原・藤原・石川・岡添・宮本会員

発行責任者

つくば市千現 2-1-6 つくば研究支援センターA25 TEL 029-858-0100 FAX 029-858-0101
ホームページ <http://www13.plala.or.jp/gakuenrc/> Eメール gakuenrc@axel.ocn.ne.jp
つくば学園ロータリークラブ クラブ会報委員会 委員長 塚原英夫